

茨木市立西中学校

生徒会ニュース

第14号 2015年3月3日(火)

3年生を送る会

いばしよ やっとわかった 生場所の意味

「贈る言葉」

より抜粋

三年生代表

「班＝家」このキーワードの意味は1年のときよくわからなかった。2年生で生徒会になって「班＝家」・「班に全員おる」のキーワードを伝えていく立場でいるうちに、あんまりわかっていないのにこの言葉の意味を理解したような気持ちになっていた。

そのころ、クラスでは教室から出て行ってしまふ子がいた。お弁当の時間になると、冬で寒いのに体育館の方まで出て行ったりするからなんでだろうと思っていた。最初は行

っちゃったと思うぐらいで外まで呼びに行ったりはしなかった。だけど、クラスの人たちが声かけしに行ってたから、同じ班だし、生徒会だから注意しないといけないと思った。あるとき私が、その子に「なんで教室から出て行くの？」と聞くと「楽しくないから」と言われてとてもショックだった。たしかに、転校してきたからクラスになじめなかったのかもしれない。もっとその子に話しかけてたら。その子にちゃんと生場所があったら。そうしたら、クラスから抜けるなんてことなかったんじゃないかなと思う。それから、あきらめず戻ってくるよう声をかけた。今度は生徒会だからとかではなくて、本心で班に戻ってきてほしい。班員全員で班食べたい。そう思って声かけをした。

班は家みたいに帰ってくる場所、帰ってくる場所があるってことは生場所があるということ。生徒会で、生きるという字で生場所と書くのはみんなが生き生きとしている生きた班という意味があるということがわかった。だから班員は1人も欠けたらダメなんだと思う。「班＝家」・「班＝生場所」・「班に全員おる」この3つのキーワードの意味がああときやっとわかった気がした。

クラスや班の仲間の弱さやしんどさをお互いに理解して、みんながこのクラスにいて心地よいと思えるようにすること。そのために、班食べや班ノート、共同学習で班と関われる環境をつくるのが大切だと思う。班に全員いてほしい。だから、生徒会は班食べにこだわっている。これから仲間のことを考えられる学年をつかってほしい。

〔部活動〕 悩み、苦勞をしたからこそ多くのことを得た

〔行事〕 行事に一生懸命取り組むことが学年を成長させる

〔仲間〕 64期生の仲間と出会えて本当によかった

〔成長〕 異常中の異常と言われた学年を変えたのは「仲間」

〔1, 2年にむけて〕 「全員参加」という目標を必ず卒業式で達成してみせる



J3・J4 があたり前にできる学年に

「決意の言葉」

より抜粋

二年生代表

【決意】

64期生の先輩たちには、体育大会や文化発表会などの行事で私たち後輩を引っ張っていただきました。また、集会ではいつもCさんばかりの先輩から一人ひとりが意識をもっているということを教えられました。私達65期生は行事や日常などのわからないことは、先輩たちの背中を見て学ばせていただきました。そんな先輩たちは、いつでもあこがれの存在です。

私たちは、最高学年になります。今まで頼りにしていた先輩たちは、もう少しで卒業してしまいます。これから私たちは、先輩たちのように後輩に頼られる先輩になります。そして、私たちの学年が課題とするSTやチャイム着席にしっかりと取り組み、日々のJ3、J4があたり前にできるような学年になります。

二年間ありがとうございました。

【行事】 失敗しても諦めずに真剣に取り組む先輩の姿を忘れない 【部活】 先輩のように後輩に尊敬されるようにしたい

【今の65期生】 「仲間を思う力」を誇りに頑張る



- ♪ 合唱はすごくきれいだった。これから最上級生として学校を引っ張っていってくれるような感じがした。感謝の言葉はすごくうれしかった。(三年生感想文より)
- ♪ 二年生の決意の言葉を聞いて、改めて先輩になるということがわかりました。二年生は三年生がやってきたことを引き継ぐので、私たち一年生も「班に全員おる！」をやりたいです。(一年生感想文より)



班に全員おる！

～深めよう 仲間とのキズナ～

64期生より